

# だんじり祭り

舟運で栄えた川湊の面影を残す勇壮な祭り

八百津町を流れる木曽川は、木曽の山あいから濃尾平野へ抜ける入り口に当たります。この恵まれた自然の立地から、八百津は長い間、舟運の拠点として栄えました。八百津町の地名の由来も、この地にたくさんの津(湊)があつたからだといいます。明治時代まで、塩、砂糖などの食料品や金物などの生活物資は木曽川を利用して運ばれてきました。その代わりに、この地方の特産品を船積みして名古屋や桑名まで輸送していたのです。犬山や笠松まで、人や馬を乗せた渡し舟が木曽川を往来し、川湊にはたくさんの人たちが現われ、こう告げました。

八百津町の氏神である大船神社に向かいます。急坂で立往生しては組の恥と、大きなかけ声とともに無心で引つ張ります。その熱気から、別名「けんか祭り」ともいわれ、以前はこのだんじりを引くことができれば、八百津の男は一人前とみなされました。

何百年と八百津町の人々の心を躍らせてきただんじり祭り。その華麗で勇壮な姿に木曽川への熱い思いが見えるようです。

資料提供：八百津町役場

八百津町を流れる木曽川は、木曽の山あいから濃尾平野へ抜ける入り口に当たります。この恵まれた自然の立地から、八百津は長い間、舟運の拠点として栄えました。八百津町の地名の由来も、この地にたくさんの津(湊)があつたからだといいます。明治時代まで、塩、砂糖などの食料品や金物などの生活物資は木曽川を利用して運ばれてきました。その代わりに、この地方の特産品を船積みして名古屋や桑名まで輸送していたのです。犬山や笠松まで、人や馬を乗せた渡し舟が木曽川を往来し、川湊にはたくさんの人たちが現われ、こう告げました。

八百津町の氏神である大船神社に向かいます。急坂で立往生しては組の恥と、大きなかけ声とともに無心で引つ張ります。その熱気から、別名「けんか祭り」ともいわれ、以前はこのだんじりを引くことができれば、八百津の男は一人前とみなされました。

何百年と八百津町の人々の心を躍らせてきただんじり祭り。その華麗で勇壮な姿に木曽川への熱い思いが見えるようです。

資料提供：八百津町役場

八百津町を流れる木曽川は、木曽の山あいから濃尾平野へ抜ける入り口に当たります。この恵まれた自然の立地から、八百津は長い間、舟運の拠点として栄えました。八百津町の地名の由来も、この地にたくさんの津(湊)があつたからだといいます。明治時代まで、塩、砂糖などの食料品や金物などの生活物資は木曽川を利用して運ばれてきました。その代わりに、この地方の特産品を船積みして名古屋や桑名まで輸送していたのです。犬山や笠松まで、人や馬を乗せた渡し舟が木曽川を往来し、川湊にはたくさんの人たちが現われ、こう告げました。

八百津町の氏神である大船神社に向かいます。急坂で立往生しては組の恥と、大きなかけ声とともに無心で引つ張ります。その熱気から、別名「けんか祭り」ともいわれ、以前はこのだんじりを引くことができれば、八百津の男は一人前とみなされました。

何百年と八百津町の人々の心を躍らせてきただんじり祭り。その華麗で勇壮な姿に木曽川への熱い思いが見えるようです。

資料提供：八百津町役場

## さむらいの 日吉・月吉

瑞浪市

むかしむかし、瑞浪市の土岐という地区のあたりに大きな池がありました。それはとても美しい静かな池でした。

ところが、この池に恐ろしい静かな池でした。真っ黒な雲を呼びよせ、目玉をギラギラさせて暴れ狂う竜。人々は家の中でガタガタと震えながら、誰か竜を退治してくれないと、そればかり祈っていました。

そんなある夜、近くに住む日吉と月吉という二人のお侍の夢枕に仏さまが現われ、こう告げました。

「お前たちは日光菩薩、月光菩薩のあと継ぎなのにや。だから、二人で力を合わせて竜を退治して、村人を守ってやつてほしい」

そこで二人は竜を退治するため、国中で一番強い弓と太い矢を用意して、池の岸で竜を待ち構えました。

3日間、息を殺して待っていると、グオーッと音とともに池に大きな水柱が立つたのです。その時、空は黒雲で覆われ、稻妻が走り、竜の目玉がすごい光りを放つて二人をにらみつけました。

「まだ！」二人は満月のように弓を絞り、矢を放ちました。すると、暴れ狂う竜の目玉も稻妻も黒雲もスーと消えてしまい、空はたちまち青く晴れ渡つたのです。

それからというもの竜は姿を見せなくなり、村人たちは安心して暮らせるようになりました。

さて、竜のいなくなつた池は、次の日からどんどん水が引いていくつゝの間にか、よく肥えたとてもいい田んぼにかわつたそうです。

「岐阜県の民話」より



もしもし電話  
新丸山ダムについてどんな事でもお気軽にお問い合わせ下さい。  
0574-43-2780

建設省中部地方建設局  
新丸山ダム工事事務所  
〒505-03  
岐阜県加茂郡八百津町八百津3351



発行  
建設省中部地方建設局  
新丸山ダム工事事務所

7

### INFORMATION

建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や関連する方々との情報ネットワークとして情報誌「みずかるべ」を発行しております。

今号は、「ダムとその貯水池周辺に生息する動物」をテーマにしました。今後も内容をますます充実させて行きたいと思っております。ご意見・ご感想がございましたらぜひお寄せ下さい。

### 新丸山ダム概要

新丸山ダム建設事業は、木曽川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げして、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。

我が国あるいは世界で大きな役割をなっている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曽川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすことになります。



恵那峡の千本桜  
あたたかい春の季節がやってきました。恵那峡の大自然を美しい色に染めたあげた千本桜が、誇らしげに咲き乱れています。

### 新丸山ダム概要

新丸山ダム建設事業は、木曽川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げして、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。

我が国あるいは世界で大きな役割をなしている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曽川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすことになります。



恵那峡の千本桜  
あたたかい春の季節がやってきました。恵那峡の大自然を美しい色に染めたあげた千本桜が、誇らしげに咲き乱れています。

### 新丸山ダム概要

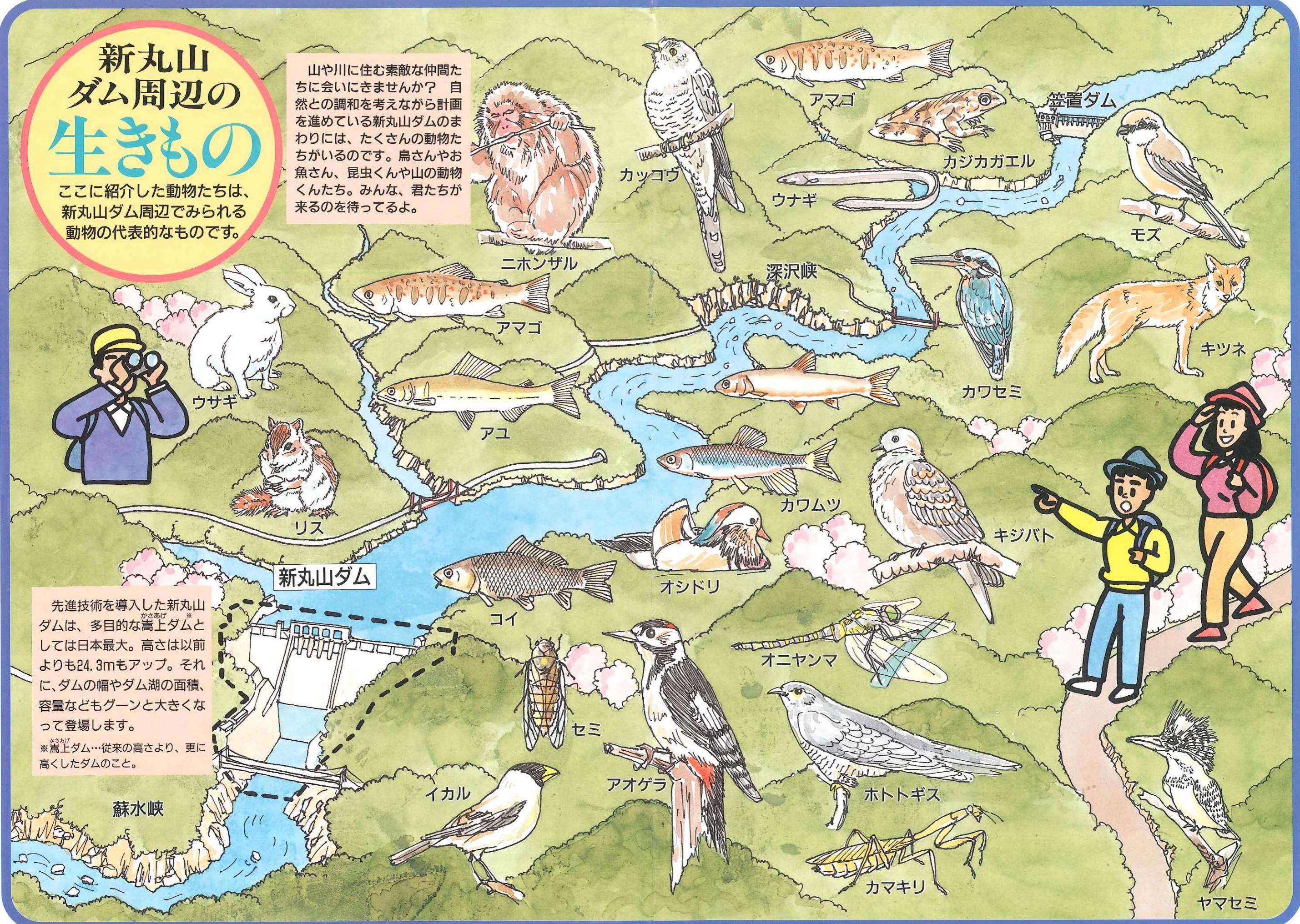
新丸山ダム建設事業は、木曽川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げして、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。

我が国あるいは世界で大きな役割をなしている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曽川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすことになります。

# 新丸山 ダム周辺の 生きもの

ここに紹介した動物たちは、  
新丸山ダム周辺でみられる  
動物の代表的なものです。

山や川に住む素敵な仲間たちに会いにきませんか？自然との調和を考えながら計画を進めている新丸山ダムのまわりには、たくさんの動物たちがいるのです。鳥さんやお魚さん、昆虫くんや山の動物くんたち。みんな、君たちが来るのを待ってるよ。



先進技術を導入した新丸山  
ダムは、多目的な嵩上ダムと  
しては日本最大。高さは以前  
よりも24.3mもアップ。それ  
に、ダムの幅やダム湖の面積、  
容量などもグーンと大きくな  
って登場します。

\*嵩上ダム…従来の高さより、更に  
高くしたダムのこと。

# 新丸山ダムトピックス

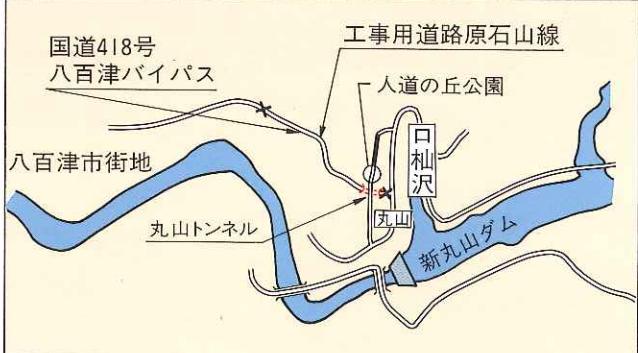
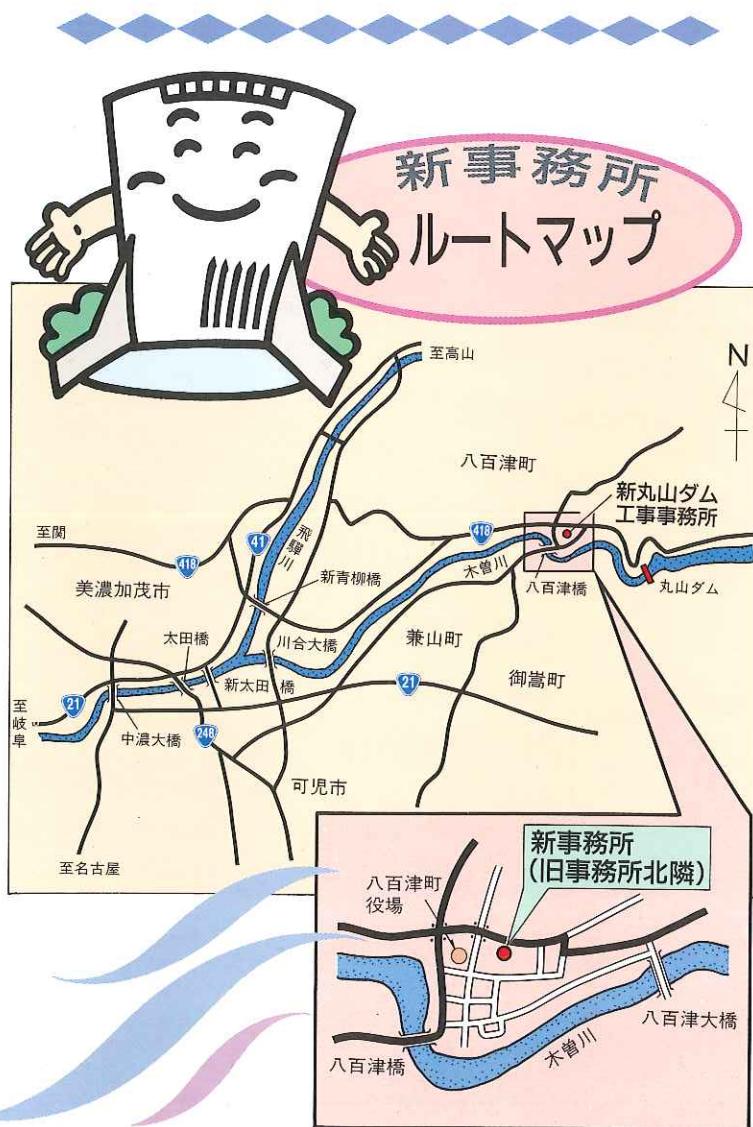
## 新庁舎完成に伴い 事務所が移転しました。

昭和55年に丸山ダムの嵩上げに関する調査事務所として開設され、昭和57年より、旧八百津中学校の校舎を借り受け今日に至っておりましたが、本格化する事業に伴いこのたび新庁舎が完成しました。



## 町道大峯線の改良工事 に着手しました。

現国道418号（八百津町丸山一口杣沢）が、ダムサイト周辺での工事が始まる場合に通行ができないため、口杣沢から丸山までの迂回路として改良工事にかかるものです。八百津町の人道の丘公園へのアクセス道路になることから、一部公園事業と合併して施工されます。



## 丸山トンネルが概成

昨年3月に着工した丸山トンネルがこのほど概成。工事用道路として使用する国道418号八百津バイパスの完成にむけ大きく前進しました。工事へのご協力ありがとうございました。



銘板は、荒井八百津町長の揮毫です。

# ふれあい すペ～す

恵那・中津川の文化が育てた天衣無縫の女流画家

## 文楽や地芝居を愛し、

## 人間の変わらない感性を追い求めた

### 「中川とも」

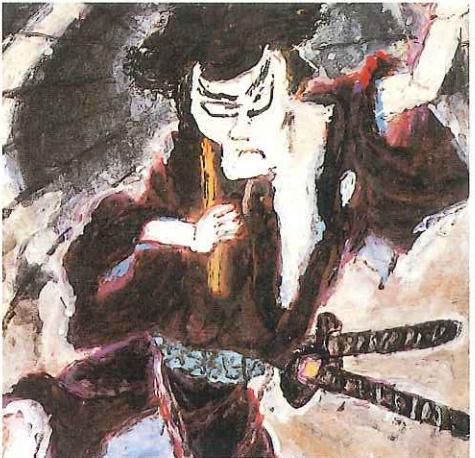
明治・大正・昭和の三代を自立した女性として、画家として生きた生涯。



います。

「弱そうに見えて強く、渋げに見えて強烈、嘆いているのが歓喜なのか、泣きじやくつてているのか笑っているのか、美しく描いていない、それなのに美しい」と。

「とも」は91歳で生涯を閉じましたが、その人生はつねに精進し、「天衣無縫」の境地をさらに突きめていく戦いでした。現在、73歳から85歳まで住んだ恵那市の旧宅の前に彼女を偲んで石碑が建たれています。また、その作品は国立劇場や御園座、愛知、岐阜の県美術館などでも見るることができます。



師範学校卒業後は中津川尋常高等小学校の先生をしながら、画家を目指し絵の勉強に打ち込みます。そして、女性として自立するために新たに中等教育図画科の試験を受け、75歳をいう高齢になるまで美術の教師を続けました。

61歳の時、恵那高等学校に赴任したのをきっかけに恵那に住み始め、和紙に木炭、ポスター、グアイカラーリー、グリッシャー（アクリル絵具の一種）を用いた独自の技法で芝居絵の

『原爆の図』を描いた丸木俊氏がその作品についてこう語って

いました。



制作に励みました。そして70歳頃から特異な郷土画家として全国から注目を浴びるようになつたのであります。その作風は「天衣無縫」と呼ばれ、幼子のような感受性と、明治・大正・昭和の三代を生きた闘志を備えたものでした。

# いべんと

## インフォメーション

惠那市
八津町
瑞浪市

4月上旬

- 恵那峡桜まつり  
(恵那峡さざなみ公園付近)
- 笠置山スープークロスカントリー  
(中野方町グリーンピア恵那)
- つつじまつり (根の上高原)
- 健康祭 (長島町横ヶ根公園)

4月3・4日 ● 八百津まつり (だんじり祭り)  
17・18日 ● 久田見まつり (久田見地区一帯)

6月6日 ● お問い合わせ

4月3・4日 ● 陶器まつり (瑞浪駅前一帯)  
6月5日 ● 神崎愛・莊村清志コンサート  
6月5日 ● お問い合わせ

4月3・4日 ● ドラえもん上映会 (文化センター)  
7月1・4日 ● 岐阜県美術館移動展 (文化センター)  
6日 ● ザ・ベンチャーズコンサート  
(文化センター)

5月3日 ● お問い合わせ

5月3日 ● みたけの森まつり (雨天順延)  
7月9日 ● 第9回御嵩町美術展 (中公民館)

● お問い合わせ

御嵩町役場 (0574) 67-2111